

## 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 超高分解能アダプティブ X 線顕微鏡の実現
2. 研究代表者： 松山 智至（名古屋大学 大学院工学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、形状可変ミラーに基づいたアダプティブ反射レンズと、それを制御するための X 線波面計測法の開発を行い、超高分解能な結像型 X 線顕微鏡の実現を目指す。フェーズ 1 では、LiNbO<sub>3</sub> のアダプティブミラー開発は非常にうまくいっており、大変素晴らしい進捗である。波面の計測も計画通り順調に進んでいる。フェーズ 2 では、超解像による更なる分解能の改善を目指す等、世界最高精度の X 線顕微鏡を目指している。半導体産業にとって大きな意味を持つため、4nm 解像度の実現を期待する。

以上